



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	「社会学特講」（修士課程）、「社会学特研」（博士課程）
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Description	講義メモ。 11頁。 資料作成年不明（システムの制約のため、発行日には没年を入力した）
Issue Date	1966
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77322
Type	manuscript
File Information	D027_01.pdf



教授 鈴木 大 郎

一、社会学特講 (修士課程)

この数年來日本に見られる社会生活の激しい變化を社会学的に整理して一冊にそれを含み、全体的な都市化の過程として理解した結果について述べる。

一、社会学特研 (博士課程)

これは主として個人指導であるから、各学生について指導する問題は一樣ではない。尤も私の指導は、集落、村落、都市、口民社会以外に終わつてゐるものではない。

教授 鈴木 太郎

一、社会学特講 (修士課程)

この数年來日本に見られる社会生活の激しい変化を社会学的に整理して一冊にまとめた全日的な都市化の過程として理解した結果について述べる。

一、社会学特研 (博士課程)

これは主として個人指導であるが、各学生について指導する問題は一様ではない。例し私の指導は、東洋村落、都市、口民社会以外に終わつてゐるものではない。

経済的交流路線の戦後における世界史的躍進に伴い

毎の

新時代文化の民族別な受け入れ方の相違、特に大に

の積極的協力による小民族の育成、開発、

新文化の受け入れか、自主的か他主的かの別

前年なにもせず
 いかにも強し
 人を敵とする
 同の対応や
 いへ
 最近
 今年には
 生活の
 変化を
 万人が
 感じ
 前年
 として
 現解し
 国内の
 分断
 等
 代
 也

德和時代

二千六七十萬

江戸五〇萬
京都五〇萬
大阪四〇萬

明治五年

三千五百萬

之

三千五百萬人

出

二千四百九十萬

七百萬十萬

五百六十萬

昭和七年

六千八百萬人

二千七百萬

一千三百三十萬

五百六十萬

四五%

明治初年

田一五

一萬六千

明治

二萬一千

分一個講義

一、仙楚大令に於ける文部省への上申。

一、宇都宮大令に於ける學と修養。

一、也
一、豊原や弛合

一、在りて一、其村後地と弛合も許へ、モノクマツの之義。
一、本書調査松本方面（此松本の支店）

一、其松本。

二つの対策。

虫村

王生他。

—— 治人文化、陽明運動

即食

後古

虫村の没後、加藤一夫の代行

虫村の死に至るは、何故ゆゑか。

要は力。

虫村の代辦をなせよとせよ。

虫村の塾生教育。

一人位は虫村指導をせよ。村は暗い。(心から)

のはちむけしたい。文化以上の基礎、治人の主眼を注意せよ。

治人の務めの代辦は一回陽明、陽明の注意。

申すまでもなく

ルカリーの教育。虫村をやる。よは人。

治人の眼目はよりよいとせよ。

農村経済学的新展開

一、農業に於ける農村調査の過去及び現状

最近の
物産学、
郷土経済学

二、農村調査の種類

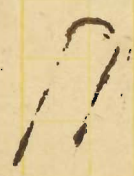
三、全般的な調査の種類

部分的調査の基礎

本書の内容と

四、本調査の意義及び内容

五、アンケート法の利用



（部分を連結して）

料金は一時的である。同時に金庫を認識する事は重要

ない。けれども多くの場合、金庫を認識して金庫を管理する

の事は必要である。私は地域団体、一つの金庫を精

成して、必要なる部分も部分的に認識し、その

金を両構成する部分によって金庫を管理する

部分、特に調電の範囲を認め、その

農村地域の研究

一、基干的地域の研究に就く

二、農村の地域線画

三、近隣の研究

四、山村の研究

五、我々の基干的研究は如何に之決定するか。

農村社会学的研究

一、農村に於ける基本的な地域社会の研究

山、集り一つの農村社会の研究

一、農村に於ける社会化の研究

交通

一、農村に於ける社会関係

一、インフラストラクチャー

一、氏神の説

地域的結合と氏神

報恩講の説

氏神と社会的関係